



## 「自分らしさ」を大切に

青森県立八戸高等支援学校 校長 村井知史

令和7年度の八戸高等支援学校の学校生活が始まりました。鮫町は、少し肌寒い春からの始まりとなりますが、天候が良ければ、太平洋の素晴らしい景色が、希望を与えてくれる魅力のある町であり、生徒にとっては卒業しても思い出深い温かい地域になると思います。

さて、八戸高等支援学校は平成29年4月に開校し、早いもので9回目の春を迎えました。これまで普通科309名、産業科84名の卒業生が社会に羽ばたき、それぞれの地域で、自分の夢に向けて日々活躍していることと思います。その中で、八高支祭や作業学習、また地域での清掃活動やボランティア活動、また販売活動で、仲間や地域の方々と一緒に協力して活動したことが思い出と語る卒業生がいました。「いろいろ大変なこともあったけど、そのおかげで、自分から学んだり、進んでやったりと自分が変わり、八高支に来て勉強してとても良かった。」と笑顔で話していました。

この学校に入学した皆さんも、八高支での学校生活の中で、ぜひ学ぶ楽しさを味わい、仲間や先生方、また保護者や地域の皆様とともに、かけがえのない大切な時間を過ごして、地域社会で幸せに生きる人に成長してほしいと思います。

そのためにもまずは、「自分らしさ」を大切に、好きなこと嫌いなこと、得意なこと苦手なことを自分で受け止めながら、自分らしく日々青春と学びを楽しみながら、この学校で過ごしてほしいと思います。卒業するときに、「この学校に来て良かった」と言って、笑顔で卒業してもらえるよう教職員一同取り組んで参ります。保護者の皆様、地域や関係機関の皆様、本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。



### 始業式・新任者紹介（4月8日）

4月8日に始業式が行われ、普通科127名、産業科51名、合計178名の全校生徒が体育館に集まりました。校長式辞では、「普段の学習からなぜ、何のために学ぶか、何ができたか。学んだことを振り返り、次に繋げてほしい」とお話がありました。

続いて新任式が行われ、今年度着任した16名の先生方が紹介されました。新任の先生方を代表して校長先生から「これから楽しい笑顔あふれる1年間を過ごしていきましょう。」とお話がありました。充実した1年になるように目標をもって過ごしていきましょう。（羽澤）



### 入学式（4月7日）

新しい制服に身を包み、不安と期待を胸にしながらの初登校となりました。教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。入学式では、校長から『前進』『意志』『協調』の校訓のもと、学校生活を楽しみ、素敵な思い出を作っていきましょう。」と、励ましのメッセージがありました。また、新入生代表からの誓いの言葉では、「なりたい自分に近づきたい。」と決意を話しました。3年間の素敵な高校生活がスタートします。（外谷）



### 青森県特別支援学校総合スポーツ大会とは

7月10日（木）、新青森県総合運動公園にて大会が開催されます。競技種目は、陸上競技、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ボッチャ・フライングディスク、フットソフトボールの7競技です。また、同日にオンラインチャレンジボッチャが各校で行われます。

本校では、部活動に所属している生徒が会場へ行き大会へ参加します。部活動に所属していない生徒も、保健体育の授業で各競技に取り組みます。授業で取り組んだ競技の記録により、各競技の専門部から認定証をいただきます。

7月の大会に向けて、よい成績や記録が出せるように頑張っていきましょう。（小松崎）